

マスター master [英] 他動詞

「まず、これだけは」

A 意味 知識や技術を身につけて、自由に使えるようにすること

①動詞: マスターする

例文	トレーニングを積んで、難しい技をマスターした。 たった2ヶ月で平泳ぎもクロールも背泳ぎさえもマスターした。 この料理は難しそうに見えるけれど、コツをマスターすれば、簡単に作れます。 彼女は文法も語彙も完璧にマスターして次に進むので、着実に力をつけている。 「あなたも1週間で英語がマスターできる」なんて、嘘に決まっている。	習得する 習得する 習得する 習得する 習得する	身につける 身につける 身につける 身につける 身につける	ものにする ものにする ものにする ものにする ものにする
用法	類義語 習得する 身につける ものにする			

②名詞: マスター

例文	退職した父の目下の目標はパソコンの基本操作のマスターだ。 ブラジルに赴任する前にポルトガル語のマスターに努めている。 伝統工芸の技のマスターには時間がかかる。 国内優勝した彼は、さらに上を目指して新しい技のマスターに取り組んでいる。	習得 習得 習得 習得
用法	類義語 習得	

「余裕があれば」

B 意味 原本。親の～。

①動詞: なし

②名詞: マスター

例文	ビデオテープにしてもDVDにしてもマスターをコピーして使ったほうが安全だ。 ホテルでは普段、マスターキーは金庫にしまっている。【マスターキー】 デジタル化の進んだ現代ではマスターとコピーの序列がなくなりつつある。	原本 親鍵 原本
用法	類義語 原本 親の～	
	複合語 マスターキー	

★ここに注意

- ①「マスター」には「原作」という意味はない。
例) ○この映画はオリジナルの漫画よりずっといいものに出来上がっている。
例) ×この映画はマスターの漫画よりずっといいものに出来上がっている。
- ②日常会話では、「マスター」を「元」「親」と言う場合もある。

「必要があれば」

C 意味 店(喫茶店、バーやスナックなどの酒場、洋食屋等)の主人、経営者 ※男性にしか使わない

①動詞:なし

②名詞:マスター

例文	古本屋を営むかたわら、喫茶店のマスターをしている。	主人	店主	経営者
	偏屈なオーナーのせいでこの店のマスターは長く続いたためしがない。	主人	店主	
	マスターと言っても、経営者が雇われ店主かはわからない。	主人	店主	経営者
	彼は32歳という若さで有名な楽団のコンサートマスターに抜擢された。【コンサートマスター】首席バイオリニスト			

用法	類義語	主人	店主	経営者
			※雇われマスターという言葉があるとおり完全なイコールではない。	

D 意味 大学院の修士

①動詞:なし

②名詞:マスター

例文	彼は経営学研究科のマスターの2年生だ。	修士
	彼女は研究に目覚め、マスターだけでなくドクターにまで進む予定だ。	修士
	マスターだけを修了しても研究職には就けない場合が多い。	修士

用法	類義語	修士
----	-----	----